

# \*国外宣教 祈りの課題\* 2025年1月 (この課題を祈禱会などでぜひご活用ください)

<p>ブラジル <small>はまだけん ようこ</small> 浜田献・陽子</p>  <p>ブラジリア アライアンス キリスト 宣教教会</p>	<p>1月までの一時帰国が守られ、諸教会への巡回訪問が祝福されるように。1月13日の第4期派遣式のために。また、1月24日に日本を再出発予定ですので、ご家族の霊肉が整えられて、新しい思いと共にブラジルへ戻ることができるように、主の平安と守り導きを、お祈りください。</p>	<p>タイ <small>はせべあいみ</small> 長谷部愛実</p> <p>(委託派遣宣教師) チェンマイ 日本語 キリスト 教会</p> 	<p>2025年も在住邦人の生活と信仰が守られ、新たに救われる方たちが起こされるように。高齢信徒の霊肉、異国での子育てに奮闘する国際結婚家族の歩みの守りのために。タイと隣国ミャンマーにおける宣教の働きの全てが守られ祝されるように。長谷部先生の健康のために、お祈りください。</p>
<p>オペレーションワールドより アジア21の国</p>	<p>台湾の学生たちのために。人生について深く考えている大学生たちが多くいます。彼女たち彼らにキリストの福音が届けられるように。長老教会は60以上の大学生のグループを支援し、キャンパス福音フェローシップ(CEF)は40名のワーカーが活動しています。主の祝福を祈りましょう。</p>	<p>世界のために</p>	<p>2024年は激動の一年でした。一年間を表す言葉として英国の雑誌 The Economist が選んだのは「Kakistocracy」(悪徳政治)でした。2025年の営みに危惧を覚えている人も少なくない中、教会は宣教のわざを委ねられています。神の国が更に展開されるように、私たちが共に祈りましょう。</p>
<p>オペレーションワールドより (最新の祈り) 2024/12/09</p>	<p>アメリカ合衆国のために。霊的伝統が様々なメディア媒体を通して攻撃されています。アメリカの公的場からキリスト教色を消し去ろうとする動きもあるようです。過激な世俗主義や無神論者の声が大きくなっています。教会が一致を保ち、愛をもって真理を語り続けるように、祈りましょう。</p>	<p>中国</p>	<p>1月29日に旧正月を迎えます。多くの人が故郷に帰り、家族親族との時を過ごします。経済が停滞し続けていると感じている人が多い中、社会の不満もたまりつつあるようです。希望を見出せない人たちも増えているようです。教会が福音を語り続け、まことの希望を分かち合えるよう、祈りましょう。</p>
<p>— 中国 — フィールド・ズームアップ(※)教会形成・アジア21、そして世界へ…</p>			<p>国外宣教委員会</p>
<p>人口:約14億人 クリスチャン人口:5.2% (2020 est.) 祈りの課題 公認教会と家の教会(非公認教会)の両方が成長を続けている。一方で、国家による家の教会への迫害は続いており、逮捕、罰金、教会閉鎖や教会堂の取り壊しなどが行われている。 異端も活発に活動する中で、信徒に霊的指導を行う教師や信徒リーダーの育成を必要としている。家の教会は世界宣教のビジョンも持っている。中国の教会のために祈ろう。</p>			<p>2025年も皆さまと共に祈りさせていただけます幸いです感謝いたします。「また、私のためにも、私が口を開くときに語るべきことばが与えられて、福音の奥義を大胆に知らせることができるよう、祈ってください。… 宣べ伝える際、語るべきことを大胆に語れるように、祈ってください。」(エペソ 6:19-20)とあるように、互いに祈り、励まし合いましょう。</p>

(※) フィールド・ズームアップの祈禱課題は「Pray for the World」(IVP Books 2015)を参照。国の人口などのデータは外務省HP及びCIA The World Factbookを参照。